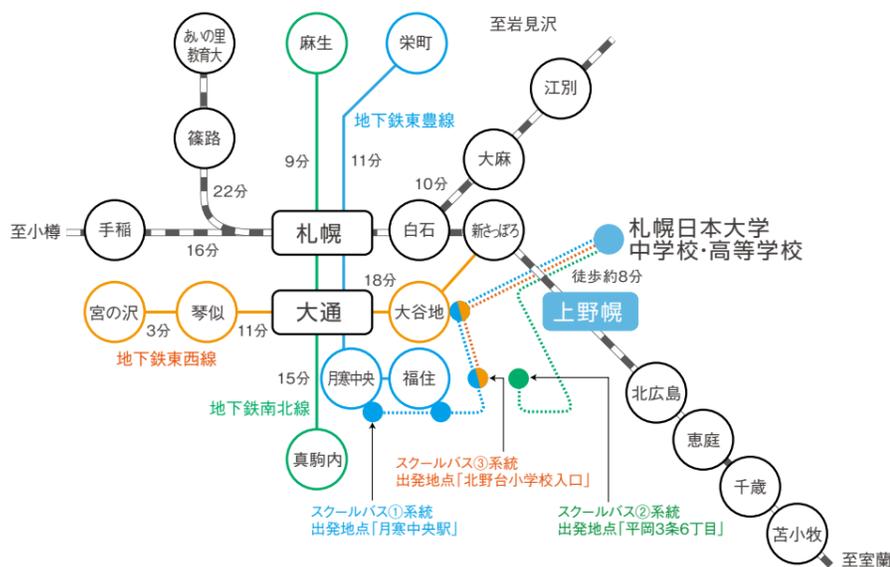


世界に貢献する人を——。

2019年度 学校案内

SAPPORO  
NIHON UNIVERSITY  
JUNIOR&SENIOR  
HIGH SCHOOL  
PROSPECTUS 2019

アタマも  
ココロも、  
大きく育つ。



主要駅からの通学時間(上野幌駅からの徒歩含む)

JR	地下鉄
小樽駅.....約90分	麻生駅.....約35分
手稲駅.....約50分	真駒内駅.....約45分
江別駅.....約40分	宮の沢駅.....約50分
千歳駅.....約35分	栄町駅.....約40分
苫小牧駅.....約60分	福住駅.....約45分
あいの里教育大駅.....約60分	大通駅.....約30分

お問い合わせ

### 札幌日本大学中学校・高等学校

〒061-1103 北広島市虹ヶ丘5丁目7番地1  
TEL.011-375-5311 FAX.011-375-2646

札幌日本大学中学校・高等学校のホームページ上で教育活動の様子をご覧いただけます。本校のホームページには、入試情報や学校説明会の案内など、最新の情報が掲載されています。ぜひ一度アクセスしてみてください。

<http://www.sapporonichidai.ed.jp>

お問い合わせ・資料請求



中高一貫教育  
札幌日本大学中学校・高等学校

# 国境は 学び続ける人 に、



グローバル化が進むなか、

世界はますます身近になりつつあります。

学ぶ楽しさを知るほど、

チャンスも世界も広がっていく。

学び続ける人に、国境は必要ないのです。

未来に必要とされる人材を送り出すために、

本校は「世界に貢献する人」の

育成をビジョンに掲げています。

それは、国内外を問わずどこにいても、

物事を広く深くとらえ、よりよい社会づくりのために

自ら行動できる人のことです。

本校では、大学進学後も、

その先の未来も自ら学び続けられる

本物の学力を育てていきます。

## 知性と豊かな人間性をみかく、 これからの教育を。

これからの教育に求められているのは、学力を伸ばすことによる知性の育成ではありません。子どもたちが時代の変化に柔軟に対応できるよう、社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよく社会に向き合い、関わり合っていくことのできる能力の育成が重視されています。子どもたちの優れた才能や個性を伸ばし、一人一人の進路に応じた多様な可能性を高めていくために、本校では幅広い教育プログラムを編成しています。

## 受け身ではない、 自分で自分を育てる学び方。

日ごろの学習指導では、「何を知っているか」で終わらせることなく、「知っていることを使ってどのように社会や世界と関わり、よりよい人生を開いていくか」という視点が重要です。そのため授業の中では、単に解答を求めるだけでなく、解答を導くプロセスを重視する問題や、解答を導くプロセスの不適切な点を指摘・修正させる問題などを通じて総合力を高める学習を重ねていきます。

また、実際に見て、聞いて、感じる体験的な学習を通じて、物事の本質を見極め、解決策について深く考える力を養っていきます。本校は、子どもたちが受け身ではなく自立的に学び続けられるような教育を実践しています。

## 2018年理事長・校長挨拶

### ご挨拶

札幌日本大学中学校・高等学校長の浅利剛之です。今年で校長職7年目となり、また5月からは理事長職を拝命し、理事長・校長の兼務となりました。身の引き締まる思いですが、本学園として北海道、日本の子供たちのために、先進的な教育の先鞭をつけていけるよう最大限努力していきます。幸い本校の教職員は多彩で能力の高いタレント揃いです。また生徒、保護者、教職員には自由闊達で風通しのよい学校文化が確立されております。これまでの教育をさらに進化させ、さらに教育と経営が一体となった学校運営に努めて参ります。以下は本校の教育方針として私が日ごろ考えていることの一部です。本校の教育に対する考えを理解していただく一助になれば幸いです。

### 私学の意義・役割とは

日本の学校には公立校と私立校があることは誰もが周知しているところですが、そして私立校という各学校の建学の精神があってそれに則って独自の教育を実践しているということになります。しかしながら、どの学校も同じように進学実績や部活動の活躍をアピールし、最近では公立校も同じようにアピールをはじめ、数字で競い合っている以外で学校の違いが見えにくいのが現状ではないでしょうか。私は私学の役割は、公立校ではしていないまたはできない先進的でユニークな教育で教育界の先頭に立ち引っ張っていくことだと考えています。その教育により北海道、日本全体の教育が刺激され、活性化していくことが本来の私学の意義だと思えます。北海道には札幌の東西南北をはじめすばらしい教育をしている学校がたくさんありますが、そのどの学校でもない新しい学校像を描いております。

### 本校の人材育成・教育方針

アジアの一島国国家である日本は、グローバル社会の中、否応なしにその情勢から大きな影響を受けています。天然資源が乏しく人口減少も解消できる見通しがたない状況の中、積極的にグローバル化を推し進め、上手に立ち振る舞っていくしか道がないのは明らかです。その時日本の唯一といっても過言ではない資源は「人」であり、「人」を世界で特別な資源にするために、学校教育の役割は今まで以上に大事で、学校は大変な責務を負っていると考えます。

このような状況下、現在、三位一体改革(大学教育改革・高校教育改革・大学入試改革)が徐々に公表されてきていますが、未だに不透明な部分が多々あり、これから受験を迎える生徒や保護者の皆様は大変不安に感じていると思います。この改革はグローバル社会に対応するために必要なことだと思いますが、『新しい大学入学試験に対応する』対策のためだけに、学校が変わっていくことは本末転倒です。情報を仕入れて入試対策に万全を期すことと同時に、これからの日本にはどんな人材が必要なのか、そのために学校はどんな教育をすべきか、またはしなければならぬか、「教育の本質」を目指し、追求していく姿勢が大事なのではないのでしょうか。本校は、この「教育の本質」を常に先頭に立って追求していくことで本校が目指す先進的な教育に向かっていくはずだと強く確信しています。

本校は目指す育成人材像を「世界に貢献する人」と目標を定め教育活動をしております。国境の垣根はますます低くなっていき、地域、日本そして世界まで視野に入れたバランス感覚がとて重要になります。世界、人類に貢献する意識をもち、調和・協調できる人間性と、事を成し遂げるのに伴う困難を乗り切っていく精神力と実力を兼ね備えた人材を育成することが本校の使命だと考えています。

「世界に貢献する人」の育成には次のことが必要です。

1. 国際理解、創造力・問題解決能力・発信力育成、バランスのとれた広い視野、ハイレベルな語学力等世界全体に目を向けたアプローチ
2. 高いレベルの文武両道、礼儀作法、精神力養成、集団の中での順応力、高い道徳性など昔からよいとされてきた日本特有の学校教育からのアプローチ
3. 学力養成、体力養成など人間としての基礎力を養うアプローチ

## 今、近未来そして20年先、誠実さと想像力で 常に教育の最先端に挑戦し続ける学校へ。

これらはどれも重要なものでバランスをとりながら、子供達の成長に必要な、そしてどういう実践が有益かを見極め、一つ一つ真剣に精査し向き合うことが大事だと考えています。これを本校では「本物の正しい教育」と呼んでおり、この一つ一つの積み重ねが将来的に「世界に貢献する人」の育成につながると考えています。世界全体を見据えるからこそ、国際感覚を養うのと同時に、日本の教育の良い面も継承し、「グローバルな日本人」として実力派の人材を育てることに力をいれています。これからの日本の教育を代表する学校をつくり、北海道の子供達に新しい選択肢を提供し、北海道が最先端のグローバル地域になる先鞭をつけていきたいと考えています。

### 教育運営方針

本校では上記の人材育成・教育方針を実現するために教育企画・実践を3つに分けて取り組んでおります。

1. 目今の教育に関する企画・実践  
生徒たちが安定して充実した毎日を過ごせる学校生活を目指し、同時に進学、部活動、SSH・SGHでも実績を積み上げていくこと、そして、スーパーアクティブ、プレミアスコースを円滑に運営していくこと。
2. 近未来の対応に関する企画・実践  
積極的な国際交流などのグローバル化、高いレベルの文武両道を発展させていくこと。また、来るべき新大学入試への対応、ICT教育など近未来への変化に対応していくこと。
3. 10年、20年先を見据えた先進的な教育の企画・実践  
10年、20年先どういう学校にしていけるべきか、日本・北海道に将来本当に必要な学校教育とは何かを追求し本校未来のグランドデザインを模索していくこと。

### 未来教育創造部の創設

進学実績や部活動の成績など数字は学校の評価には必要不可欠なことだと思いますがあくまで近視眼的な評価です。これからは校風や多様な教育の質、学校の姿勢、先進的な教育など多面的に評価される時代になると考えられます。これからは数字だけで競い合うのではなく、日本や北海道のことを真剣に考えた独自の道を探って進んでいき、これからの日本を背負っていく人材を育成していく本来の教育の目標に向かっていくことが使命だと考えております。今年はその取り組みを本格化するために新しく「未来教育創造部」を創設しました。本校の未来の姿を模索していく部で未来教育の研究室の役割になります。部長には民間出身の全国の教育事情に精通している人材を配置しています。どんな新しい風が吹くか私も楽しみにしているところです。

### 教育の質の保証

本校の最大の長所は何かと聞かれたら、数ある中、この教育の質の保証を一番に挙げます。何を実行したら教育の質の保証が十分だというものはありません。教職員の教育、機能的な学校組織、風通しのよい学校風土、人間の信頼関係、教職員の適材配置、学校評価の実施など多面的な視点と相応の努力がなければ満足のいく質の保証は達成できません。そして私自身の姿、言動も学校全体に大きな影響を与えると肝に銘じています。本校では手を抜くことなくこの教育の質の保証が教育活動の生命線と考え、学校全体を挙げて大切にしています。



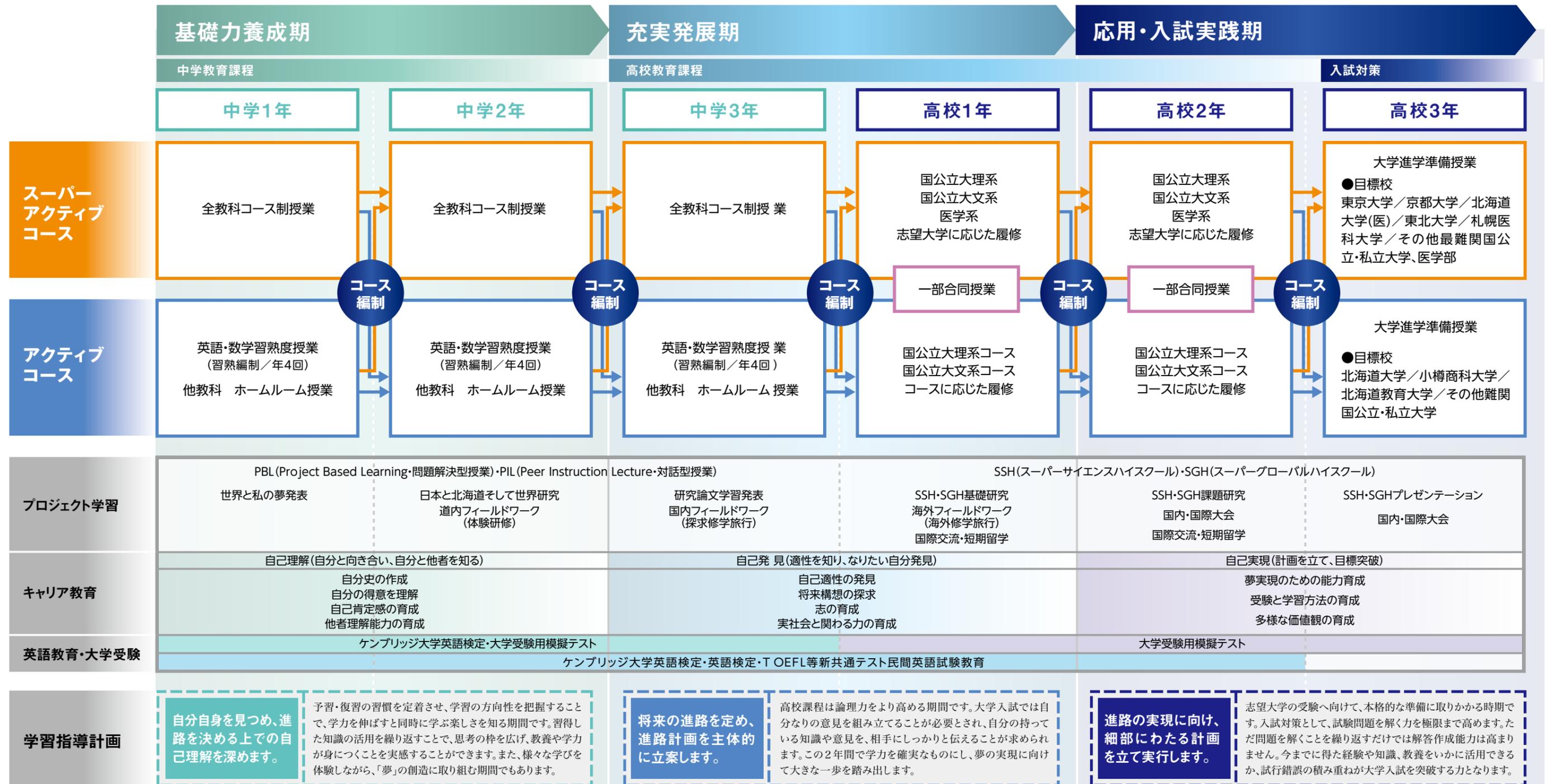
(学)札幌日本大学学園 理事長  
札幌日本大学中学校・高等学校 校長  
浅利 剛之

# サクセスロード6

成功への道

中高6年一貫教育の創造的な学びを通して  
人間力を鍛えます。

- 21世紀型学びの推進**  
生徒が自ら考え、友だちとディスカッションし、様々な問題を解決していく探求型の学びを通して、探求力、創造力、発信力、コミュニケーション力を育成します。
- 学びの基となる知識教育**  
学びによって蓄積される知識をしっかり身につけ、体系化します。また思考の方法を客観的に把握し、探求の基となる学力を定着させます。
- 21世紀型大学への進学指導**  
確かな学力を育みながら、高2、高3では、世界標準の大学進学プログラムの教育や、難関大学へ対応した進学指導を徹底して行います。
- グローバル化に対応した英語教育**  
英語教育に注力するとともに、他の教科の内容を英語の題材にし、また他教科の内容を英語で学ぶことなど、日常で英語を使う環境や親しみ慣れる場づくりを実践します。



# 選抜コース編制

## 2020年度大学入試改革に対応したコース制導入と、 中高6カ年教育で、輝く未来を勝ち取ります。

本校では、卓越したハイレベルな教科指導で、トップレベルの難関大学入試にチャレンジする「**中高一貫 スーパーアクティブコース(SAコース)**」と、習熟度別授業とグローバル、サイエンス授業を効果的に取り入れた教科指導で大学入試に向かう「**中高一貫 アクティブコース**」の2コース制を行っています。大学入試を知り尽くしたスタッフが、豊富な経験と知識を活かした授業を行い、さらにオリジナル教材を使用しながら、生徒の意欲と能力を引き出します。授業と連携した個人指導、放課後講習、夏期・冬期講習をはじめとした各種サポートにより現役大学合格を目指して徹底指導を行い、志望大学に合わせて選択する2つのコースで、確かな大学進学をサポートします。



### 中高一貫 スーパーアクティブコース(SAコース)

#### 東京大学、京都大学などの最難関大学、 医学部を目指す受験生を対象とした指導コース

卓越したハイレベルな教科指導のもと、ハイレベルの難関大学入試問題にチャレンジします。中高一貫ならではのカリキュラムは、医学部受験に必要な総合問題、小論文、面接に対してもしっかり対応します。難関大学で求められる論述対策は、各教科の個別(添削)指導はもちろん、特定大学の傾向対策まで個別に実施します。大学入試に必要な準備は、すべてここで完結します。難関大学特有の思考力・課題発見解決力、表現力などを教科指導、ホームルーム活動を通じて学びます。

### 中高一貫 アクティブコース

#### 北海道大学、東北大学などの難関国公立大学、 難関私立大学を目指す受験生を対象とした指導コース

大学受験に求められるのは、膨大な範囲を網羅した基礎力とそれを土台にした応用力です。このコースでは、ハイレベルな授業内容に加え、単元別テストや実力テスト、夏休み・冬休みを活用して実施する講習などで継続的に学習する習慣を作ります。6年間の地道な積み重ねを行うことで、確かな実力と揺るぎない自信を手に入れることができます。多様な活動を通じて、思考力、課題発見解決力、表現力を身につけます。

### ●コース選択にあたって コース選択等の詳細は、「進学ガイドブック」のP.2・3を参照ください。

志望順位	4教科入学試験		総合学力入学試験	
	入学試験 第1志望	入学試験 第2志望	入学試験 第1志望	入学試験 第2志望
	中高一貫 スーパーアクティブコース	中高一貫 アクティブコース	中高一貫 スーパーアクティブコース	中高一貫 アクティブコース
	中高一貫 アクティブコース		中高一貫 アクティブコース	

### ●入学試験について ※入学試験の詳細は、「進学ガイドブック」のP.12~14を参照ください。

# 1/7

特待生入試  
4教科入試

# 1/9

4教科入試  
総合学力入試

### 入学試験の5つの特長

1. 複数日入試による合格率アップ
2. 特待生入試導入によるハイレベル生集結
3. 難関のSAコースにダブルチャレンジが可能
4. 総合学力入試にSAコース新設
5. 専願入試・英語資格入試・帰国子女入試を新設

## 大学合格実績 (平成30年度大学入試合格実績抜粋)

確かな学びの力で勝ち取った、輝く未来への第一歩。

### 3年連続 東京大学現役合格(文科Ⅲ類)

医学部医学科……12名 (北海道大1・札幌医科大4・旭川医科大1・浜松医科大1・佐賀大1・防衛医科大1・私立大医学部3)  
 難関国公立大学…21名 (北海道大16, 東北大・東京工業大・一橋大・名古屋大・大阪大各1)  
 北海道大学……16名  
 難関私立大学……43名 (早稲田大8名・慶應義塾大3名・上智大1名, MARCH31名)

### 過去3カ年の実績

国公立大学 ※抜粋版・( )内は医学部医学科				私立大学 ※抜粋版			
大学名	2018年入試	2017年入試	2016年入試	大学名	2018年入試	2017年入試	2016年入試
東京大学	1	1	1	早稲田大学	8	2	5
京都大学	0	1	0	慶應義塾大学	3	0	3
北海道大学	16(1)	10(1)	6(2)	上智大学	1	1	1
札幌医科大学	7(4)	2	3(2)	明治大学	4	4	3
旭川医科大学	1(1)			立教大学	3	0	3
小樽商科大学	7	5	8	中央大学	14	7	4
東北大学	1	1	0	法政大学	9	3	5
東京工業大学	1	0	1	青山学院大学	1	1	3
一橋大学	1	0	0	東京理科大学	13	3	8

#### 先輩たちの合格体験記

#### 目標の達成には努力の積み重ねが不可欠です。

##### 東京大学 文科Ⅲ類 現役合格 菅沼 秀蔵さん

受験勉強の日は、決して楽なものではありませんでした。学習を終えて毎晩ベッドに入ろうとするたび、「これで今日という日を終わるのだからか」という不安に駆られたものです。最後の最後までこういった気持ちが消えることがありませんでしたが、それでも立ち止まることなく勉強し続けたことが結果に結びついたのでないかと思えます。強い気持ちで勉強を継続することが大切です。

札幌日大中学校・高等学校の中高一貫教育は各人の進路実現に資する素晴らしいシステムです。先取り学習を行うことで6年次にそれぞれの進路に特化した勉強に取り組むことができます。ほかの学校にはないこの特長を活かせるように、計画的に学習を進めることができました。

精神的にも肉体的にも苦しい受験勉強ですが、共に学校生活を送る仲間が大きな支えになりました。誰一人知り合いがいない試験場において、普段から親しくしていた友人だけでなく、あまり話すことのなかったクラスメイトの顔までも頭に浮かんできたのですから不思議なものです。今、この時を共にすごしている仲間を大切に、良い雰囲気づくりに努めることも大切です。

#### 先輩たちの合格体験記

#### 自分との闘いを制することができました。

##### 北海道大学 医学部医学科 現役合格 江端 美織さん

受験とはまさに自分との闘い、これが受験生活を通して私が一番に感じたことです。まず一つの闘いは、「甘えた自分」との闘いです。試験で良い結果が出た時や、学園祭などイベントがある度に、受験勉強から逃げ出そうとする弱い自分が現れました。そのような時、自分を律してくれたのは「もったいない精神」です。身につくはずだった知識や実力を逃してはもったいない。親身な先生方のアドバイスや快適な自習室を活用しないもったいない。無駄に時間を費やすのはもったいない。この「もったいない精神」が、易きに流れようとする自分を制し、机に向かわせる原動力になりました。

二つ目は、「不安」との闘いです。不合格を経験したくないという恐怖心や不安感と闘い続けました。私の不安定な精神状態を受け止め、励ましてくれた家族、先生、友人など、自分がたくさんの人に支えられているということ、受験を通して初めて実感しました。

6年間を共に過ごした仲間と乗り越える受験は、想像より耐え難いものではありません。友人との何気ない日常が私の大きな心の支えになっていました。日々の小さなことでも楽しむ気持ちを忘れずに、走り抜けることです。

#### 先輩たちの合格体験記

#### たくさんの支えのある環境で自信をつけました。

##### 一橋大学 法学部 現役合格 星野 裕衣さん

受験勉強をするにあたって、学校の先生方の力が大きな支えになりました。個別試験の対策には過去問演習が最も重要だということもありますが、私はメンタルが弱いことも自覚していたので、自分を安心させるために過去問を各科目15年分ずつ、問題によっては繰り返し解きました。そして、それぞれの教科の先生に、添削とアドバイスをもらい各科目の対応力を高めることができました。

試験が近づくにつれて、不安は大きくなり、センター試験・個別試験の直前はとも不安でしたが、生徒一人ひとりに多大な時間を割ってくれる先生方や、一緒に受験に向けて頑張っている仲間は強力な支えになりました。そのおかげで、試験当日、最終的に自分をサポートしてくれるのは自分が勉強したことだけだと強く信じて進むことができました。

受験勉強は決して簡単なものではありませんが、合格した時の達成感はとても大きなものです。これから受験を迎えるみなさんには、このたくさんの支えのある環境を存分に活用して、自分の目標を達成してほしいと思います。

#### 先輩たちの合格体験記

#### たくさんの経験が合格にむすびつきました。

##### 札幌医科大学 医学部医学科 現役合格 佐々木 あかねさん

私は、公募推薦を利用して合格を勝ち取りました。きっかけは、担任の先生のアドバイスでした。「発言が優等生すぎてつまらない。言葉に厚みを持たせる工夫をしてみなさい。」というものでした。私は、自分の人間性を磨かなければならないと思い、「トビタテ! 留学JAPAN」をはじめとした国際交流事業や、医療系の講演に参加するなど、たくさんの人と交流してきました。そこでは、実際に医療の現場で働く人の使命感や責任感、また困難な状況に置かれた時にどう行動するかということ学ぶことができました。それらを調査書や面接を通してしっかりアピールできたことが合格の大きな要因であると思っています。

大学受験にあたっては早いうちから目標を定め、先生方のアドバイスをもらうことが大切だと感じました。先生は最も身近な進路アドバイザーです。目標に向かって何をどのように取り組むべきか適切なアドバイスをいただくことができます。

また、興味のあることに積極的に挑戦することです。生徒会活動や国際交流活動を通じて、学校の授業では学べないことを吸収することができます。私も積極的にたくさんのことを学ぶことの大切さを実感できました。

# 21世紀型教育プログラム

能動的で体験的な学びを土台に

変化の著しい時代を生き抜くための能力を育てます。

社会とよりよく関わっていく上で、ものの考え方や価値観をみがくことがとても重要です。新しい時代を生き抜くために、多元的な視点で物事を考え、未知の事態や新しい状況に的確に対応していくための力を育みます。



## サイエンス教育

中学部の理科教育では、週に1回以上、実験、考察を通じて学ぶ機会を設けています。机上の理論だけではなく、サイエンスへのワクワク感を体感しながら学びを深めていくことができます。また、物事の本質を自ら探究するための「問い」や「好奇心」を育み、相互方向の授業によって自主性も高め、科学的思考力を深めます。グループ実験では、豊かで柔軟な発想力を育てるとともに、仲間と共創しながら、思考する力を養い、世の中にイノベーションを起こす「仕組み・仕掛け」を考えられる力の育成を目指します。



### 充実した理科実験

中学2年 藤原 百葉さん

液体窒素を使った実験をしました。その液体窒素を理科室の床にまくと、さっきまで液体だった窒素がいつの間にか煙になって消えました。柔らかかったソフトボールは、液体窒素につけてから床に落とすと、まるでガラスのように割れました。液体窒素の温度を測ってみるとどれだけ冷たいかわかりました。液体窒素の実験は、液体が気体に一瞬のうちに変わったり、普段よく使うものの形や硬さが変わることを実際に目の前で見てみるのがとても面白いです。学校では、知らないことを、自分の好きな分だけ知ることができます。これからも、たくさん面白い発見をしていきたいです。

## 医学部進学ゼミナール

医学部入試で課される高い学力、医療に関する基礎知識、感性豊かな人間性、深い洞察力や倫理観、生涯学習につながる自己学習力や自己問題解決能力など様々な力を試される「小論文」や「面接」に対応する特別授業が「医学部進学ゼミナール」です。医療従事者の先生をお招きし、多岐に渡るテーマでの授業、ワークショップ、グループディスカッションなどを通じて、将来日本や世界で中心的役割を担うことのできるような医療人の基盤を提供しています。



### 目標に向かって意識を高める

高校2年 梅津 菜央さん

医学部の試験の特徴や、推薦要項などの直接的に知識から普段の勉強法まで、幅広い知識を得ることができます。このゼミに参加するまでは、漠然と医者に憧れていただけでしたが、講習を通して医学生になるための手段をはっきりと認識することができました。本校の卒業生をはじめとした、現役医学生による講義を受ける機会もあるので、経験談を聞いたり質問をすることができたりと、世界が狭くなりがちな高校生にとってはとても貴重な体験になります。また、自分以上に努力している人の姿を間近で見ることによって励みになり、意識を高く持ち続けることができます。



## CAS教育 Creativity(創造性)・Activity(活動)・Service(奉仕)

「CAS」とは国際バカロレア(※1)の「課外活動」プログラムの名称です。本校でも学校行事の中にCASの考えを組み込み、実社会と連動した学びの場を設けています。本校の教育方針に定める「世界に貢献する人」の具体的活動として、中学部・高校部を通じて「SDGs(※2)」をテーマに「平

和教育」、「日本にしながらできる国際協力」、「異文化体験研修を通じた奉仕活動」などに取り組んでいます。

(※1) 国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する、世界共通の大学入試資格とそれにつながる小・中・高校生の教育プログラム  
(※2) 2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」



## PBL・PILプログラム

多様化する社会の変化に対応できる生徒を育てるため、世界に目を向け思考力・表現力・判断力を身につけ、主体性・多様性・協働性を養い、世界から必要とされる若者になるための教育を進めています。

PBL(Project Based Learning・問題解決型授業)は、具体的な課題を設定し、その解決に向かって取り組む授業。予測不能な社会で存分に力を発揮するために、自ら考え、的確な判断を生み出せる力、予測できない急激な変化

に立ち向かえる力を養います。PIL(Peer Instruction Lecture・対話型授業)は、対話を導入した世界標準の授業法。教師と生徒、生徒同士が議論を重ねながら、課題の解決策を追究していきます。



### 課題と向き合った中3研究論文

高校1年 大貫 愛依さん

研究論文は、授業で使う副教材からテーマを選び、それに対する自分の意見や主張などを述べたものです。「ヘイトスピーチの現在」が私の研究論文のテーマでした。約5,000字の原稿を書き上げ、それをベースに最終稿を仕上げました。頭の中で考えていることを文章に書くのは難しいことですが、担当の先生からアドバイスをいただきながら進めました。論文が完成したらそれを発表します。論文が良くできていても、発表の仕方が悪いと、内容が的確に伝えることができないので発表の仕方がとても重要です。私は、大きく、明るい声で堂々とした態度で発表することを心がけました。研究論文は、一つのテーマについてその問題を深く考える機会となり、とてもいい経験になりました。

## デザイン思考教育(芸術・情報教育)

「デザイン思考」の教育は、「豊かな発想力でアイデアを形にし、発信する力を育てる」、「問題解決的な探究のプロセスをたどることにより、思考力を育てる」、「情報の検索方法や整理の方法、効果的な活用方法を習得する」、「メディア情報リテラシーを育成する」という4つの柱で構成されています。芸術活動を通じて「北海道のお土産品など

のものづくり活動」、情報教育では、ICTなどを活用した「予測不能な社会」で活躍できる力などを養います。



# 国際化教育プログラム

地球規模で考え、足元から行動する。世界を学び、グローバル人材に求められる資質をみがきます。

さまざまな国や地域の多様な価値観にふれ、国際的な視野を広げます。英語によるコミュニケーション力の向上だけでなく、国際人の資質を伸ばすことを目標に、世界に貢献するグローバル人材を育てていきます。



## 国際感覚をみがき、世界で活躍するリーダーを育成

### スーパーグローバルハイスクール

スーパーグローバルハイスクールは、生徒が社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力などの国際的素養を身につけられるよう、質の高い教育を展開しています。そのために、目指すべきグローバル人物像を設定し、国際化を進める国内外の大学、企業や国際機関等と連携を図り、社会課題をテーマに横断的・総合的な探究学習を行います。学習活動では、課題研究のテーマに関する国際的な研究を行う大学、海外大学・企業等へのフィールドワークを行い、高校生自身の目で見聞を広げ、挑戦することを目指しています。

※本校は、平成27年度より文部科学省からスーパーグローバルハイスクールに指定されています。

#### グローバル人材としての基礎力を獲得

高校3年 尾先 由崇さん

国際的な幅広い視野と異文化理解能力を鍛えたいという考えから、札幌日本大学中学校・高等学校へ進学し、日常的な課題研究はもちろんのこと、各種フィールドワークへの参加や、全日本高校模擬国連大会、国際学会等への出場などを経験し、多くの成果を得ることができました。

グローバル化と呼ばれる現在、真のグローバル人材として活躍していくための基礎となるような能力を、SGHと共に過ごした3年間で磨くことができました。普通の高校生活では考えられないような国際課題について、日常的にリサーチできたのは大変有意義な経験となりました。卒業後は米国の大学に進学し、世界中から集まったトップレベルの学生たちと刺激し合いながら、SGHで養ったスキルをさらに高め、将来は国際機関に勤め、国際社会の発展と課題解決に貢献したいと考えています。

## 先進的な理数教育を実践し、科学技術の未来を担う

### スーパーサイエンスハイスクール

スーパーサイエンスハイスクールでは、大学・研究機関等との連携により、地域の教育資源を活用して知的好奇心を喚起し、創造性・独創性や科学的リテラシーを育む教育を進めています。また、これまで取り組んできた理数系教育を一層推進し、世界レベルで活躍する人材を育成する教育プログラムを開発しています。研究では、先端科学に触れる「高大連携や施設見学」を実施し、意欲や探究心を向上させる学習プログラムを展開しています。また、体験的・問題解決的な学習を基本に課題研究を進めています。豊かな人間性や国際性を育むとともにコミュニケーション能力を高め、倫理観を持った人材育成に取り組んでいます。

※本校は、平成24年度より文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールに指定されています。

#### 英語でのプレゼンテーションに手応えを実感

高校2年 林田 健太郎さん

SSH活動を通じて、大きな成長を果たせたと感じています。その一つが研究のプレゼンテーションです。研究結果をすべて英語で発表しなければならないということもあり、一筋縄ではいきませんでしたが、発表をやり終えた後の大学教授の評価は、今後の研究や将来にも生かせるものでした。

私は現在、「エレクトレット」という物質について研究しています。電気分野に関係した研究で、まだ自分の知識が不足している部分もあるものの、先生の手厚いサポートで実験を進めることができています。想定外の問題に直面したときに、諦めずに考え工夫ができるかということが、今まで以上に求められているのだと考えるようになりました。研究中に出てくる問題が多々ありますが、指導をいただきながら問題を自分たちの力で解決していきたいです。

## オーストラリア海外研修

高校1年生になると、全員でオーストラリア研修を行います。ホームステイ、ファームステイなどを通じて、オーストラリアの文化を学び、英語コミュニケーションの向上を図ります。また、姉妹校関係の学校を訪問し、授業に参

加したり、研究交流、文化交流を体験します。生徒による自主研修では、積極的にアポイントを取り観光地、大学を訪問しています。

## 短期海外研修

### 英国・オーストラリア・ニュージーランド・中国・韓国の中高校生と交流

希望者を対象に、英国・オーストラリア・ニュージーランド・中国・韓国などの提携・交流活動に親密な関係のある学校を訪問し、研修を行なっています。短期留学では、ホームステイをしながら、留学先の学校

で英語のレッスンやさまざまなアクティビティ等を体験し異文化を学びます。夏・春には、日本大学附属高校が参加する「ケンブリッジ大学英語研修」にも参加しています。

## 国際大会への積極的出場

### (科学・社会課題をテーマに国際舞台で発表と議論—— Global Link Singapore ——)

アジア地域における中高生のアイデアコンテスト "Global Link Singapore"。アジア地域を中心とする世界各国の中高生が、科学や国際課題に関する考えや研究成果を、英語を使って国際舞台で発表します。プレゼンテーションやディスカッションを通じて、世界の

中高生や研究者・専門家との交流が生まれます。また、科学・技術に関する研究活動やアイデア、環境や経済など社会課題に関する研究や、解決のためのアイデア・提言を様々な国からの参加者が持ち寄り、発表や意見交換を行います。

#### 「なぜ」の大切さを学んだ ケンブリッジ大学イースタープログラム

高校2年 伊部 有稀さん

私はケンブリッジ大学の研修で、もの見方が変わったこと、「なぜ」が大切であるということ学びました。

イギリスの料理は美味しくないとよく言われます。イギリスでは、基本的に塩や胡椒などの調味料を自分でかけるのが普通だそうです。食文化に限らず、日常生活においても多くの「常識の違い」に気づくなど、様々な視点や文化の違いがあることを知ることで、自分のものの見方を変えることができました。また、「なぜ」その常識が違うのかについて考えることが、真の異文化理解だけでなく、物事の本質を知ることにつながるのだと実感しました。

私はイギリスで得たことを将来、株式投資の分野に活かしたいと考えています。日本の企業はグローバル化により海外との接点が一層深まっています。国内の事情はもちろん、海外から受ける影響を考え、そのために必要な物事を複数の視点から見る力や、なぜこの企業に投資するべきかを考える術をイギリスで得ることができました。

#### 世界レベルで考え視野を広げる グローバルリンク・シンガポール国際大会

高校2年 荒井 優奈さん

私は、昨年の夏にシンガポールで開催されたGlobal Link Singaporeに出場しました。この大会は、アジアを中心とする世界各国の学生が一同に集まる研究課題を発表する大会で、Global Issue Linkポスターセッション部門において2位という成績を取ることができました。表彰されたことは大変名誉なことでしたが、それ以上に多くのことを学び、経験することができました。

私たちは識字率の改善をテーマに研究を行い、データの収集方法など、今後に役立つことを学ぶことができました。また、世界から集まったレベルの高い学生と交流できたことはとても貴重な経験でした。研究発表では、世界の問題から自国の問題まで、多くの課題を様々な視点から発表があり、それを聞くことで自分自身の視野が広がりました。

この大会への参加は自分の英語力や積極性を見直すいい機会となったこと、様々な視点から物事を考えることの経験ができ、その後のSGHや課外活動におけるいい糧となりました。

# 英語教育プログラム

## グローバル化進展の中で高まる英語力の重要性和 新大学入試制度を見据えた多彩な取組で対応します。

異文化への理解やコミュニケーションがますます重要になる中、国際共通語である英語力の向上は不可欠です。情報や考えなどを積極的に発信し、円滑なコミュニケーションを図るために必要な思考力・判断力・表現力を身につけます。



### 週6～7時間の授業時間

外交官などの専門職を養成する米國務省機関である外務職員局(Foreign Service Institute)の調べによると、外国語を習得するには2000時間が必要だと言われています。しかし中学校の標準授業数(週3時間)では3年間で267時間しか学習できません。そこで本校では、英語の授業を週6時間行い、中学3年間でおよそ525時間、

高校卒業までには1000時間を超える時間を確保しています。それでもまだ2000時間には及びませんが、普通の学校生活でもネイティブの先生と接し、さらには、海外研修を行うことで、生徒が英語に触れる機会を最大限確保します。

### オールイングリッシュの授業プログラム

授業はPBL(課題解決型授業)、PIL(対話型授業)といったアクティブラーニングの形態で、ゲームやペア活動、グループ活動などを通して、生徒は実際に英語を使いながら習得していきます。また、CLIL(内容言語統合型学習)を取り入れた授業を行い、他の教科と連携し、さまざまな社会の問題等を英語の文章で読んだ後、その解決策をグ

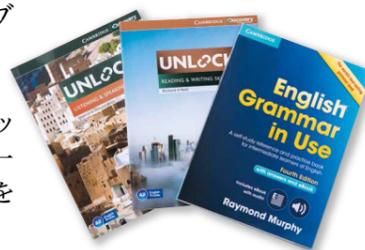
ループで議論し、プレゼンテーションを行い、実際に行動することで、「インプット」から「アウトプット」の流れの中で英語を身につけます。



### ケンブリッジ・イングリッシュ・スクール

本校はケンブリッジ大学出版発行の教材を採用しています。教材の「Unlock」は、身近な話題から社会問題まで、多彩なトピックを取り上げており、4技能をバランスよく習得できる構成になっています。また国際的な基準CEFRに完全準拠したケンブリッジ大学英語検定も行っており、「読む」「書く」「聞く」「話す」の各レベルチェックに活用しています。

2018年6月から「ケンブリッジ・イングリッシュ・スクール」として、教材と試験の両面でケンブリッジ大学との連携をより一層図りながら、英語教育をさらに強化します。



### 各種検定、資格試験チャレンジプログラム

英検とケンブリッジ英検を実施しています。英検は中学卒業時に準2級の取得を目標としています。大学入試でも外部検定活用型入試の導入が進んでおり、英検2級や準1

級で英語を満点扱いにする大学もたくさんあります。高校では英検のほかTEAPやIELTS、TOEFLなどの受験も積極的に奨励します。

### ICT教育プログラム

パソコンを活用したビジュアル英語により、わかりやすく記憶に残る「五感で学ぶ英語授業」を実施しています。一部の教室にはWi-Fiを完備し、情報検索、映像編集、プレゼンテーションのツールとして活用しています。主に家庭学習に活用する「オンライン英会話」は、外国人講師と

マンツーマンで学ぶ「生きた英会話」と「受験の力」も身につく学習です。



### 英語プレゼンテーションスキル・レッスンプログラム

英語でのディベート(討論)、プレゼンテーション(発表)など、スピーチのテクニックを身につけ、英語でのディベート大会への参加や、英語でのポスター発表や

プレゼンテーションを行う大会への参加も見据えたレッスンを行ないます。

### 英語サマーキャンプ

中学1年生は、夏期休業期間に2泊3日の「英語サマーキャンプ」を実施します。キャンプ期間には英語圏の国籍の異なる講師を招き、学校では体験できない英語を学びます。  
中学2年生は、英国文化の体験施設「ブリティッシュヒルズ」

(福島県)に4泊5日で参加します(希望者のみ)。公用語も通貨も英国式の体験型滞在研修で、本場の英国を体験します。



### 留学生と活動するフィールドワークプログラム

中学3年の研修旅行では、京都大学・同志社大学に在籍している留学生と共に、京都で日本文化研修を共同で実施したり、広島では原爆資料館・公園を訪れる外国からの観光客に「平和活動インタビュー」を行うことで、英語コミュニケーションの充実を図っています。また、SGHでは国際大会での英語発表、海外フィール

ドワーク、国際交流活動を通じて、異文化交流など積極的なコミュニケーション活動を行なっています。



### アメリカ文化体験型英語プログラム

中学3年の研修旅行では、英語分野の一つであるOSAKA ENGLISH VILLAGEを訪ねます。『世界で生きる力を身につけよう!』をテーマに、アメリカに旅行に来たかのような空間で自然に英語に触れられる、英語を楽しみながら学ぶ体験型英語教育に参加。レストラン・エアライン・銀行・テレビ局・ハリウッドなど、23

のシチュエーションルームから体験したい部屋を選び、ネイティブ英語講師とともに、それぞれの場面でよく使用される英単語や英語表現を学び、実社会で活用できる英語コミュニケーションにチャレンジします。

### “リテラシー・プロ・ライブラリー”プログラム(デジタル洋書システム)

スカラスティック社(アメリカ版ハリーポッターを出版しているアメリカ最大手の教育出版社)が提供する「リテラシー・プロ・ライブラリー」(デジタル教材)を取り入れています。このライブラリーでは、洋書約800タイトルが収められ、多読・多聴を完全バックアップし、自学自習のシステムとして活用が可能です。様々なジャンル

の洋書を『英文の難易度と生徒の英文を読む力(レクサイル)』を示し、読みたい本を選択できます。パソコン、スマートフォンを利用して行なうことから、朗読、コメントなどが利用でき、ICT教育のソフトウェアとして活用しています。

学校生活

# School Life

本校で過ごす6年間は、子どもから大人へと成長するためのかけがえのない時間。仲間と一緒に笑ったり、楽しんだり。ときには自分自身を見つめることも大切です。そんな毎日が、人間としての大きな成長につながります。



50分の真剣勝負がはじまる。今日は、予習もバッチリなので、自信满满!

自分の好きな本を選んで10分間の読書。心を落ち着けてスムーズな一日をスタートする。

08:25 朝読書

授業

08:50

HR

担任の先生から今日の予定を確認。目的意識をしっかり持った一日を送ろう。

08:35

登校

JR上野幌駅から徒歩約8分。今日も元気な声が飛び交う。スクールバスなら、学校まで快適な通学ができる。

08:00



週2日のクラブの日。中体連が近いので、真剣に、気合を入れて頑張ろう。

クラブ活動 15:45



昼食後の楽しいひときは仲間とワイワイ、ガヤガヤ。いつもは校庭で遊ぶけど、今日は図書館へ。

昼休み

13:00

13:25



普段はお弁当だけど、今日は学食の日替わりランチに。オムライス、ボリュームがあっけおもしろ。

昼食

12:45

授業

午後の授業。昼食後でちょっぴり眠いけど、集中して取り組もう。



下校

18:00

あっという間に、楽しい学校生活の一日も終了。スクールバスでの下校は便利で安全。

「勉強が楽しかった」

中学2年 K.Sさん  
僕は、入学当初、数学の成績が伸びず苦手意識が芽生えてしまいました。しかし、先生方の授業中の手厚い指導のおかげで、数学をはじめ他の教科でも成績が伸びました。今では毎日学校に行き勉強するのが楽しいと思えるようになりました。



年間行事

# School Events

学校生活をより豊かにしてくれるのが年間行事です。仲間と一緒に何かに取り組んだり、新しいことに挑戦して自分の可能性を試したり。好奇心と吸収力を全開にして、いましかできない経験を積んでほしいと願っています。

## 平成30年度の年間行事計画

### 道内研修旅行(中2)

旅行日程(平成30年度実績)

1日目	十勝 農業体験 開拓時代の農業体験
2日目	大樹 航空宇宙体験 ロケット技術の学習とロケット製作
3日目	池田町 自然体験 羊毛フェルト体験・マイエコ著作体験

### 中2研修旅行

中学2年 近藤 あやさん

2泊3日で十勝の帯広市と大樹町、池田町に行きました。農業体験では、昔の暮らし方や未来の農業についてのお話を聞きました。大樹町のインターステラテクノロジズでロケット作りをしました。私の班は所々作るのが失敗して、あまり上手くは出来ませんでした。施設の方によると、大型ロケットのエンジンは作るのが難しく、とても苦労したそうです。

この研修旅行を通して、普段の授業では得ることの出来ないことをたくさん学びました。そして一人一人が最大限力を発揮し仲間と協力して物事を最後までやり遂げ、マナーや礼儀を守り相手を考えて過ごすことが出来ました。今回の旅行で深めた仲間との絆や団結力を生かし、「目配り気配り心配り」を心掛け、切り替えをもっとしっかりして取り組んでいきたいです。



### 関西・中国地方研修旅行(中3)

旅行日程(平成29年度より新行程)

1日目	新千歳空港→広島空港 広島平和教育研修
2日目	広島平和教育研修 関西歴史探究活動
3日目	留学生と文化研究 関西歴史探究活動
4日目	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン研修
5日目	関西空港→新千歳空港

### 中3研修旅行

高校1年 幕内 梨子さん

私たちは四泊五日で広島・関西方面への研修旅行に行きました。広島では、平和記念公園で全員が折った千羽鶴を奉納し、広島平和記念資料館を訪れ、戦争によってもたらされた被害の大きさを実際に目の当たりにすることで、平和な世界をつくることの大切さを学びました。京都では、地元の大学生と市内を巡る、「B&Sプログラム」(自主研修)を行い、和菓子作りや扇子作り等の体験、歴史的建造物の見学、京都大学を訪問しました。京都大学では、大学の細部まで見学することで、それぞれが新しい発見をすることができ、自分の進路を考える有意義な時間を過ごせました。旅行を通して、仲間との友情を深めることができたと同時に、集団生活において規律を守ることの重要性を再認識するいい機会となりました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
中学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●始業式</li> <li>●入学式</li> <li>●新入生歓迎会</li> <li>●授業参観</li> <li>●夢発表会(1年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●三者懇談会</li> <li>●遠足</li> <li>●研修旅行(2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開校記念日</li> <li>●中体連春季大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●桜虹祭</li> <li>●全校集会</li> <li>●夏期講習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全校集会</li> <li>●中体連秋季大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前期終業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●後期始業式</li> <li>●スポーツフェスティバル</li> <li>●三者懇談会</li> <li>●保護者会セミナー</li> <li>●研修旅行(3年)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●姉妹校交流</li> <li>●血回し大会(1年)</li> <li>●お楽しみ会</li> <li>●全校集会</li> <li>●冬期講習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬期講習</li> <li>●授業参観</li> <li>●芸術鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●百人一首大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業式</li> <li>●終業式</li> </ul>	
高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●始業式</li> <li>●入学式</li> <li>●授業参観</li> <li>●進路説明会(1年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遠足</li> <li>●看護体験(任意)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開校記念日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●桜虹祭</li> <li>●全校集会</li> <li>●夏期講習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全校集会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路説明会(2年)</li> <li>●前期終業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●後期始業式</li> <li>●スポーツフェスティバル</li> <li>●三者懇談会</li> <li>●保護者会セミナー</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●姉妹校交流</li> <li>●全校集会</li> <li>●冬期講習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬期講習</li> <li>●授業参観</li> <li>●芸術鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オーストラリア研修旅行(1年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業式</li> <li>●終業式</li> </ul>	

いろんな行事がいっぱい!

### 血回し大会

中学2年 伊藤 泉純さん

血回し大会の団体種目には、3~7人が1グループとなり、血を隣の人に投げ、それを全員が一斉にキャッチするという種目や、それをクラス全員で挑戦するものなどがあります。これは、一人だけの力ではなく、グループ全員で気持ちを合わせなければなりません。練習では失敗の繰り返しでしたが、努力の甲斐があり本番では見事成功することができました。血回し大会を通して、仲間と共に一所懸命に努力し、その努力が実った時のとても嬉しい喜びを実感することができました。

### スポーツフェスティバル

中学2年 笠原 慎平さん

サッカーやバスケットボールや綱引きなどを行いました。バスケットボールでは自慢の足の速さを活かして仲間と連携し、良い成績を残せました。チームワークを特に大切にしている綱引きでは、事前に綱引きのコツを仲間と共有したことで、すべて勝利することができました。競技の時、観客席からは大きな声援が絶え間なく聞こえてきました。僕も自分の出番が終わったら、精一杯応援してくれた仲間たちへ、気づけば喉が乾くほど精一杯応援しました。スポーツフェスティバルはとても楽しく、団結の大切さを知ることができました。



### 心の成長を実感できたオーストラリア研修

高校2年 津留 章子さん

初めての海外であり、10日間家族と離れて日本以外の土地で生活することはあまりできない体験なので、とても良い機会でした。普段なかなか自分から発言することができない私は、日本語が通じないことに対する不安でいっぱいでした。ホームステイ中、すべての場面で英語を使います。そんな不安の中、英語で話すことに挑戦し、通じたときの喜びや感動は忘れられません。同年代の子と英語で話しているうちに相手の考えていることを理解することができ、とてもいい交友関係を築くことができました。何事にも恐れずに積極性を持ってコミュニケーションをとるということが、こんなにも楽しく自分の考え方や視野が広がるということに改めて気づくことができました。この経験を今後の人生に活かしていきたいと思いました。今では授業中も積極的に発言するようになり、人前で話すことへの抵抗もなくなりました。研修旅行を通して、自分に自信が付き、心の成長を自分自身で実感することができました。

### オーストラリア研修旅行(高1)

旅行日程(過年度実績)

1日目	新千歳空港発→オーストラリア シドニー空港へ向け出発
2日目	メルボルン動物園見学等 ホームステイコースとファームステイコースに分かれます。
3日目	【ヘイバリー:ホームステイコース】 ホストと合流後、各家庭で過ごします。Haileybury College 訪問
6日目	【カイントン:ファームステイコース】 メルボルン市内自主研修スタート Sacred Heart College 訪問
7日目	フィリップ島見学(コアラ保護区・ペンギンパレード等)
8日目	シドニー市内見学 (ミセマコーリーズポイント、オペラハウス、ダーリングハーバー等)
9日目	シドニー市内グループ研修
10日目	オーストラリア シドニー発→新千歳空港着



クラブ活動

# Club Activities

本校のクラブ活動は、週2~3回。  
短い時間の中でも「量より質」を重視し、工夫を凝らした活動を行っています。  
中学校のクラブ活動加入率は80%以上で、生徒の多くが文武両道を実践しています。



バドミントン部

競技を通して礼儀・マナーを身につけることを活動目標にしています。初心者からでも楽しみながら技術をみがいでいきます。



ボランティア部

「自分たちでできることから始めよう!」自分のためにそして誰かのために、中学生と高校生と一緒に楽しく笑顔で活動しています。



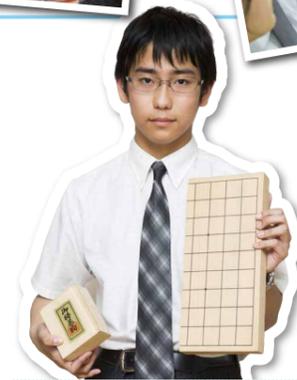
バスケットボール部

「最高の選手である前に最高の生徒であれ」を部訓に、バスケ・礼儀・学力の三位一体を目標として熱い練習に取り組んでいます。



科学部

実験や観察、フィールドワークなどを通して、日常生活に見られる事象・現象を科学の目で解明し、自然の不思議や理科の面白さを体験します。



囲碁・将棋同好会

対局中、盤上に集中することにより、脳の働きが活性化します。「礼に始まり礼に終わる」ことも学び、礼儀も自然に身につきます。



芸術同好会

油絵、アクリル画、陶芸などの造形活動を通して己の表現を模索しています。高校美術部と一緒に活動しているユニークな部です。



軟式野球部

野球ができることへの感謝の気持ちを大切に、チームワークと技術をみがき、中体連での勝利を目指しています。通塾生も多く、文武両道を実践しています。



硬式テニス部

「明るく礼儀正しく」が合言葉です。大半が初心者からのスタートですが、文武両道を目指して楽しみながら練習に励んでいます。



卓球部

卓球初心者から経験者まで加入しています。チームワークや礼儀を大切に、一生懸命練習に励んでいます。



ロボット部

中1から高2までの5学年が活動しています。ロボカップジュニア世界大会出場を目標にロボットの設計・プログラミングを行っています。7年連続全国大会に出場しています。



英会話同好会

ニュージーランド出身とアメリカ出身のネイティブ英語教員2名、日本人英語教員1名の計3名の教員と、日常生活、時事問題等について英語で話し合います。



写真同好会

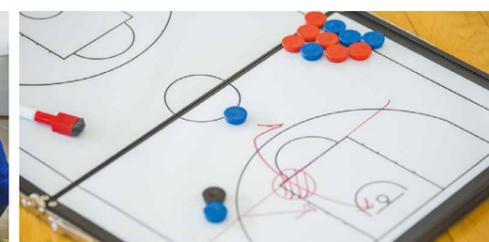
カメラを手にしているときは一瞬のシャッターチャンスも逃がしません。撮影中は真剣そのもので、集中力が養われます。私たちと一緒に、こだわりの一枚を追求しましょう。



ボランティア部



英会話同好会



教育環境

# Campus & Facilities

JR千歳線・上野幌駅から徒歩約8分。札幌の市街と山並みを見渡す丘の上に、近代的な設備と木のぬくもりを感じさせる、札幌日本大学中学校・高等学校の校舎があります。学習効果を高める施設やクラブ活動を支える各種設備は、生徒たちの個性と可能性を伸ばしています。今日も開放的で自然豊かなキャンパスには、明るい声が響き渡っています。

## 交流ホール



吹き抜けのおしゃれな空間。各種ドリンクの自動販売機があり、休み時には、学習、語らいの場として利用されています。



## Meeting Rooms

## レセプションホール



式典や保護者懇談会、講演会などが開かれる多目的のホールです。円形に配置されたラウンジタイプとなっています。

## 生徒ホール



休み時間や放課後などに、自由に利用できるスペース。生徒用玄関を入った正面にあるため、待ち合わせにも便利です。



## Library



## コミュニティルーム

生徒たちに人気のスポットのひとつです。自習室として、あるいは知的な憩いの場として多目的に利用されています。



## 専用自習室

個人ブース式専用自習室と道路用資料を配置した、専用自習室を完備しています。



## 図書室

高校校舎と共用の図書館にはさまざまな種類の本が置かれています。閲覧スペースもあり、ゆっくりと本を読むことができます。

## 視聴覚室兼 コンピューター室



図形ソフトなどを使った数学の授業やインターネットを活用した各種授業などに使用しています。放課後は生徒に開放しています。



## 家庭科室



家族と家庭の役割、生活に必要な衣・食・住について実践的・体験的な学習を行います。



## Life Skills

## 理科室



論理的思考を養成するため、特に力を入れている教科のひとつが理科です。各種実験機器、設備を整えた2つの理科室を用意しています。

## 技術室



家庭生活や社会生活を送るために必要な「道具」を活用するための知識や方法を学びます。

## Sports



## 体育館(アリーナ)



お昼休みやクラブ活動の時間にたくさんの生徒が集まる体育館。広々とたたくり思いっきり体を動かすことができます。



## 柔道場

高校生用の柔道場。主に体育の授業と部活動で使用されています。



## 剣道場

高校生用の剣道場。主に体育の授業と部活動で使用されています。

## 進路指導室



将来の夢ややりたい職業は何かなど、一人一人の希望を聞き、適性を見極める手助けをします。目標が決まったら最新の情報をもとに万全の体制を整えて、生徒の進路を全面的にバックアップします。

## 進路指導室

## Guidance



## 制服図鑑

# Uniform

制服ブランドは、コムサデモード・スクールレーベル。  
制服コンセプトは「ちょっと大人っぽく、きりっとさわやか」。  
清潔感があり、活動的な学生生活にフィットする動きやすさと、フォーマルな場での清潔感あふれる着こなしを両立させたデザインが特徴です。モノトーンでまとめられた落ち着いたイメージと、シンプルで機能性に優れた制服として生徒に評判です。



ニットベスト



ニットセーター



ネクタイ・リボン



ソックス



夏服

冬服

## 在校生からのメッセージ

# Message

### 授業・宿題について

中学1年 佐々木 ハナさん

普通の授業の特徴として、とても深度が深く発展的な内容の学習ができるという点が挙げられます。先生方は、授業の後に質問をしに行っても、きちんと理解するまで親身に教えてくれます。宿題は多めですが期日までには十分こなせる量だと感じています。また、学校では生活設計ファイルというものが用意されています。PDCAサイクル(Plan, Do, Check, Actionの略)に基づいて、日常の学習計画を自ら立てるといった仕組みになっており、毎週先生がチェックしてくれます。

札幌日本大学中学校では生徒が自主的に学習に取り組み、充実した6年間を過ごせるような環境が整っている素晴らしい中学校です。

### 充実した中学生活

中学1年 加藤 日奈子さん

毎日が充実していてとても楽しいです。その理由は3つあります。1つ目は、毎週ミニテストがあり、予習・復習を頑張ると満点を取ると、達成感が得られることです。2つ目は、コミュニティルームや生徒ホールなどの自習スペースが複数あり、休み時間や放課後に友人と楽しく自習できることです。3つ目は、生徒それぞれの個性が発揮できる、のびのびとした環境があることです。楽しむときは楽しみ、集中するときは集中することができるとても過ごしやすい環境です。

私は、札幌日本大学中学校に来て良かったと思えました。これから六年間毎日コツコツ努力して、夢を叶えたいと思います。

### 優しい先生

中学1年 菊地 結翔さん

先生の魅力を三つ紹介します。一つ目は授業の時のことです。先生が一方的に話をするのではなく、みんなと一緒に進める形なので、とても分かりやすいです。課題なども丁寧にチェックしてくれるのでとても励みになります。二つ目は自習をしている時のことです。放課後の自習中、わからないことができた時、先生に直接アドバイスをもらうことができます。三つ目は生活面です。ロッカーの管理方法や学校生活についてなど、学習面以外のことも丁寧に指導してくれます。

このように、札幌日本大学中学校の先生方は、学習面も生活面もたくさんのことを教えてください。

### 英語コミュニケーションの充実

中学1年 藤原 玲夫那さん

授業は、「数学」や「英語」といった教科を一生懸命に取り組み、将来の目標に向けて日々努力を重ねていく時間です。外国人と多くのコミュニケーションをとったり、上級生が下級生にプレゼンテーションをして、学ぶことができます。また、自主的に黒板にチョークで答えを書き込む機会があり、自分に自信を持つことができます。授業が終わると、基本的に宿題が出されず、授業で学んだ知識を生かして応用問題にも挑戦しています。

このようにして懸命に勉強した後、テストなどで自分の目標を超えることができたのであれば、その時生まれた達成感は、良い基準になると思います。

## 自主創造 日本大学

130年の輝きと共に、未来を創る。2019年に創立130周年を迎えます。

日本大学は、自ら考え、自ら行動し、自ら創造する「自主創造」の力を持つ人材育成をめざします。

### 教養教育

- 教養教育科目(総合教育科目)
  - 外国語科目
  - 保健体育科目
- などを幅広く学びます。

専門知識を理解し活用するための  
高度な教養を身につける

専門領域に関する基礎知識や  
学問研究の方法と姿勢を学び  
問題解決能力を身につける

学科・コース・  
専攻などに応じた専門科目を  
段階的・系統的に学びます

### 専門教育

1年次

4年次(6年次)

### なぜ大学で「教養」を学ぶのか

大学は、自らの関心や将来の目標に沿った専門分野の知識を身につけるとともに、社会人として、また心豊かな人間として備えるべき教養を身につけることができる学修の場です。日本大学は総合大学として、人文科学・社会科学・自然科学の幅広い学問領域を網羅する学部・学科を設置しており、学生はそれぞれの興味や将来の目標に合わせて専門分野を学ぶことができます。しかし、専門知識の理解を深め、それを他の分野と関連づけて考えたり、実社会で活用していくためには、幅広い高度な教養を身につけることが欠かせません。

日本大学では専門分野に関する基礎知識だけでなく、教養教育にも力を入れることで、日本大学の教育理念である、自ら考え、自ら道を切り開き、自ら創造できる「自主創造」の精神を持った人材の養成を目指しています。

### 専門分野をどのように学ぶのか

教養教育に対して、幅広い教養を基盤に専門領域に関する基礎知識や学問研究の方法と姿勢を学び、問題解決能力を身につけるのが専門教育です。「専門基礎科目」「学部共通専門科目」などの基礎的科目から、学科の専門領域そのものを学ぶ科目まで、自分の関心や将来の進路に応じて段階的・系統的に学び、専門性を深めます。

専門科目の授業は、講義だけでなく演習、ゼミナール、実験・実習など、多くが少人数形式で行われます。その授業をより豊かで実りあるものにするためには、教員の力だけでなく、学生が主体的に参加し、双方向型の対話を通して学んでいくことが大切です。学生が「自分で授業をつくる」という気概を持つことで、高校とは異なる新しい学びの喜びを体験することができます。そうして獲得した「自主創造」の力こそ、将来、社会の一員として自らの役割や使命を果たし、社会に貢献していく上で欠かせない力となります。

### 大学院

- 法学研究科
- 新聞学研究科
- 文学研究科
- 総合基礎科学研究科
- 経済学研究科
- 商学研究科
- 芸術学研究科
- 国際関係研究科
- 理工学研究科
- 生産工学研究科
- 工学研究科
- 医学研究科
- 歯学研究科
- 松戸歯学研究科
- 生物資源科学研究科
- 獣医学研究科
- 薬学研究科
- 総合社会情報研究科(通信制)
- 法務研究科(ロースクール)
- 知的財産研究科

### 学部・短期大学部

- 法学部
- 文理学部
- 経済学部
- 商学部
- 芸術学部
- 国際関係学部
- 危機管理学部
- スポーツ科学部
- 理工学部
- 生産工学部
- 工学部
- 医学部
- 歯学部
- 松戸歯学部
- 生物資源科学部
- 薬学部
- 通信教育部
- 短期大学部

### 全国にひろがる

### 日本大学附属高校のネットワーク。

附属高校・中等教育学校には

日本大学への推薦入学制度もあり、  
高大連携教育をはじめとして付属校各々の  
「独自性」と日本大学の持つ「総合性」が結び付く等、  
他にない特長があります。

日本大学高等学校・中学校  
日本大学櫻丘高等学校  
日本大学鶴ヶ丘高等学校  
日本大学藤沢高等学校・中学校  
日本大学豊山高等学校・中学校  
日本大学三島高等学校・中学校  
日本大学明誠高等学校  
日本大学山形高等学校  
日本大学習志野高等学校  
日本大学東北高等学校  
日本大学第一高等学校・中学校  
千葉日本大学第一高等学校・中学校

日本大学第二高等学校・中学校  
日本大学第三高等学校・中学校  
大垣日本大学高等学校  
土浦日本大学高等学校  
岩瀬日本大学高等学校  
土浦日本大学中等教育学校  
宮崎日本大学高等学校・中学校  
佐野日本大学高等学校  
佐野日本大学中等教育学校  
長崎日本大学高等学校・中学校  
長野日本大学高等学校・中学校  
札幌日本大学高等学校・中学校  
目黒日本大学高等学校・中学校(2019年4月)